

知っていますか？
この言葉

ステップファミリー

アメリカでは、離婚すると両親が交互に子どもの世話をし、再婚すると家族の輪が広がるステップファミリーという概念があります。妻と夫の両方、あるいは片方が子どもを連れて再婚の家庭を言います。

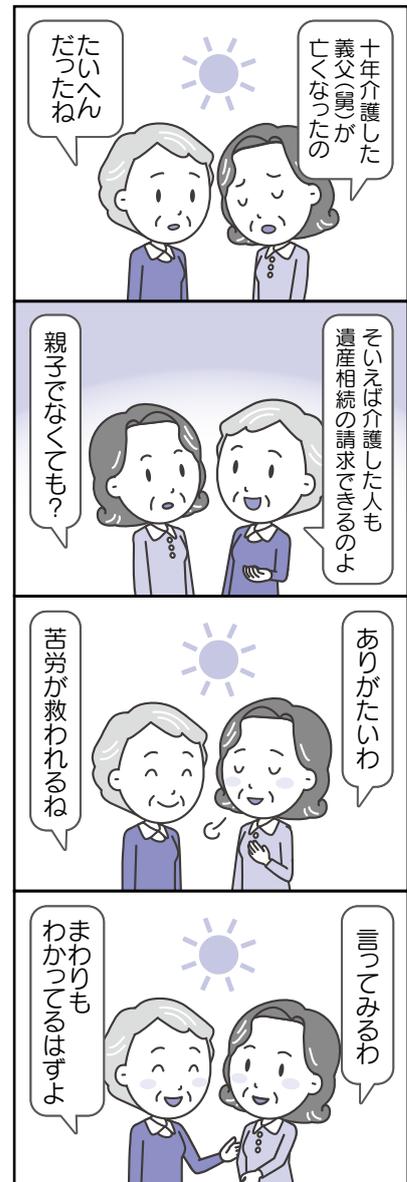
厚生労働省の発表によると2015年に結婚した夫婦のうち両方再婚またはどちらかが再婚の割合は、26.8%（約4組に1組）と過去最高を更新しました。当然子どもを連れて再婚も増えています。

それぞれ違った経験や習慣がある人たちが家族になるには、大人も子どもも大変な思いをすることもあります。「時間が解決してくれる、一緒に暮らせば家族になれる」など簡単に言う人もいますが、まだまだ偏見を持つ人も少なくなく、親も子も苦労が多いようです。新しい家庭を築いても、親にとっては子どもとの関係がうまくいかないことが最も多い課題で、うつになってしまうこともあるようです。また親の離婚により、大切な一方の親をなくす喪失感子どもにとっても親が思う以上に心の影響を与えるようです。まわりの人が上手にフォローすることにより心の傷も徐々に癒されることもあるでしょう。

過去の結婚生活においては、大人も子どもも様々な事情から辛い思いをし、新しい決断をするのは勇気が必要だったと思います。その中で、前向きに新しい人生をスタートさせて、人生を楽しもうとする人が増えているのは喜ばしいことだと思います。私たちも新しい家庭を応援していきたいものですね。



陽だまりの会話



今年四月末で平成の時代が終わり、新しい元号になります。平成を振り返ってみると天災が多かったこと、IT化の波がやってきたことが印象に残ります。

特に平成二十三年におきた東日本大震災は、原子力発電の問題を大きくクローズアップしました。今まで便利な生活に甘んじてきた私たちの生活を考えなければならぬ時期がきたのです。この便利という利点はストップしたときのリスクが大きいことを示します。

昨年起きたある携帯会社の電波障害はたった五時間で市民の生活や仕事に相当の影響を及ぼしました。普段使用しない公衆電話に長蛇の列ができました。私たちはスマートフォンなしでは生きられなくなっているのかもしれない。

まだまだ震災や放射線量の数値が高いことの影響で避難している方々はたくさんいます。

新しい時代を迎えるにあたって一人ひとりが自分たちの生き方を考えていけたらいいですね。

こうい

